

飛ばないナミテントウの育成と利用技術の開発 —アブラムシ防除に強力でやさしい味方誕生—

- ・ 難防除害虫アブラムシの天敵ナミテントウを有効利用するため、飛翔能力の低い個体を選抜し「飛ばないナミテントウ(トバテン)」を育成
- ・ 2013年に施設野菜類用の天敵製剤として登録され、2014年から販売開始
- ・ 利用法を解説した技術マニュアルを整備。将来的には露地野菜類でも利用できるように、さらなる研究開発に着手

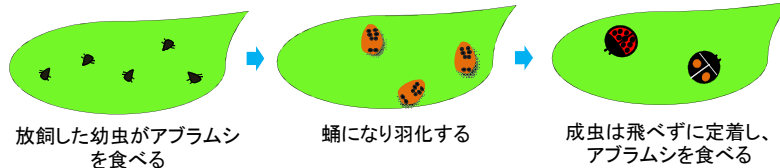
研究成果の内容

1日にアブラムシ100匹以上を食べるナミテントウを「トバテン」にすることで高い防除効果を発揮



アブラムシを食べる
「飛ばないナミテントウ」

- ・ 飛ばないナミテントウ(トバテン)は、飛翔能力の低い個体を30世代程度交配・選抜して育成
- ・ トバテンは、幼虫段階で放飼でき、成虫になった後も定着し、その子孫も飛翔能力がないため、長期間の防除効果が期待
- ・ 成虫放飼よりも、幼虫放飼の方がアブラムシを抑制し、効果も持続



放飼した幼虫がアブラムシを食べる

蛹になり羽化する

成虫は飛べずに定着し、アブラムシを食べる

- ・ コマツナ、イチゴ、ナスの施設栽培で効果を検証済み
- ・ アブラムシ類の発生初期の防除に効果的。生息密度が高い場合には気門封鎖系の殺虫剤との併用で対応
- ・ 他の病害虫防除のための殺虫剤・殺菌剤は、ナミテントウに影響の小さいものを使用

近畿中国四国農業研究センターホームページの技術情報マニュアルページ (http://www.naro.affrc.go.jp/warc/original_contents/tech/index.html)において、「飛ばないナミテントウ利用技術マニュアル」として公開(2014年6月)

飛ばないナミテントウ
利用技術マニュアル
(近畿中国四国)



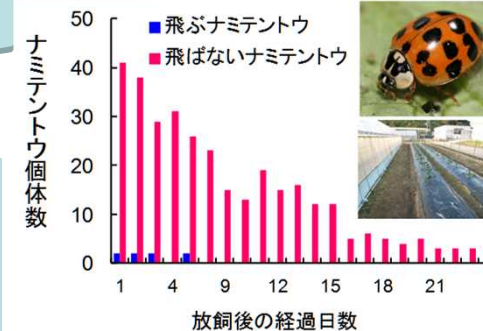
飛翔能力をフライト
ミルで測定・選抜

※2014年に(株)アグリセクトで販売開始



天敵製剤「テントップ」

※露地ナス畑でも良く定着することを確認



施設園芸、将来的には露地において、化学農薬の使用量が減り、環境や生産者への負荷が低減し、環境保全型農業推進に貢献

作物上での定着性が向上、高い防除効果を発揮

☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 西日本農業研究センター 企画部産学連携室

TEL:084-923-5231 FAX:084-923-5215 Email:w-renkei@affrc.go.jp